

第2学年国語科学習指導案

平成27年1月30日(金) 5 校時

七森の会

第2学年口組

24名

指導者 ○○○○

【研究主題】 「読みたい」を育てるための指導法の工夫

- 1、単元名 1年生に本の紹介をしよう
教材名 「お話 びじゅつかん」(教育出版2年国語下)

2、単元の目標

- いろいろな本に興味や関心をもち、読むことの楽しさを味わいながら本を読んだり、お気に入りの本を紹介しようとしたりする。
(関心・意欲・態度)
- 読み取ったことを相手にわかるように話したり、大事なことを落とさないように聞いたりすることができる。
(話す・聞く能力)
- 紹介したい本のお気に入りの場面について、その理由やおすすめの言葉などを、相手にわかりやすく書くことができる。(書くこと)
- 紹介したい本について、内容の大体をつかむことができ、感想を交流することができる。
(読むこと)
- 既習の漢字を文章の中で正しく使うことができる。(言語事項)

3、単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○本について興味をもち、いろいろな本を読もうとする。 ○1年生に紹介したい本を選び、紹介する文章を書こうとする。	○自分が選んだ本のお気に入りの場면을、伝える。 ○紹介の内容を聞いて理解し、感想を交流する。	○相手を意識して、おすすめ言葉を書く。	○本の内容の大体をつかみ、感想を交流する。 ○自分や友達の書いた文章を読み、間違いを直したり、よいところを見付けたりする。	○既習の漢字を正しく使う。 ○長音や撥音、助詞「は」などを文章の中で正しく書く。

4、単元について

- (1) 児童の実態 (省略)
- (2) 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の目標(3)「書かれている事柄の順序や場面の様子など

に気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」を受けて設定したものである。

本単元は、児童一人一人がお気に入りの本を1年生に紹介する活動が中心にある。紹介する本が大変重要になるため、今回は教科書教材で取り扱った内容と関連付けさせる意味で、本のジャンルを、①動物が主人公のお話、②自然の不思議に関する本、③昔話の3つに絞った。本選びの際には、なるべく本人の希望が叶うように複数選ばせた中から、重複を避けて決定することとした。

(3) 教材について

本教材「お話 びじゅつかん」は、一人一人がお気に入りの本を、好きな場面と一緒に紹介する活動である。児童はこれまで、担任や保護者などから、様々な本を読み聞かせしてもらったり、本の紹介をしてもらったりしてきている。また、友達が読んでいる本に興味を示し手に取ってみたい、相互に紹介し合ったりする児童も増えている。この、読書に関する興味・関心を、「お話しを読んでもらう」「自分で本を読む」から一歩前進させ、読んだ本のよさを紹介する活動に繋げていこうと考えた。一年生に知らせようという最終の目的意識と相手意識をもたせることが、活動に対する大きな動機付けになることを期待した。

今までに読んだことのある本や、自分が興味のあるジャンルから紹介したい本を絞り込んでいく。紹介の構成の段階では、本をしっかりと読み込む時間を設けて内容の大体をつかませるとともに、お気に入りの場面を決めさせる。そして、書いた紹介文を絵とともに紹介し合い、内容のよさ、発表の仕方のよさの両面を伝え合わせる。発見したことをきちんと伝えられるよう、双方向のコミュニケーションの場をつくっていく。

5、主題にせまるために

①単元を貫く、「読み」への動機づけ

2年生の児童にとって、「1年生に本の紹介をしよう。」という目標を設定することで、本選びから始まる様々な活動に意欲的に取り組むことができると考えた。一人一人が、紹介したい本については誰よりも詳しくなり、どんな質問にも答えられるように、しっかりと読み込むこと。そして、選んだ本のよさがしっかりと1年生に伝わるように、紹介の仕方を考えること。また、「1年生のために」という目的意識をもつことで、思い通りに上手くいかない場合でもあきらめないで粘り強く丁寧に取り組むことをねらった。

②読みたいポイントの活用

「読みたいポイント」は、その本を読んでみたいと思う気持ちを星の数で表す。本の紹介によって、相手の「読みたい」という気持ちを高めさせることができたのかどうかを、視覚化することができる。これを取り入れることによって、「どうすれば読みたいと思ってもらえるか」を、念頭に置いて活動できるように意識付けを図る。また、「読みたいポイント」が相互にアドバイスや感想を伝え合う際の具体的な指標になると考えた。ただし、その本自体の魅力や、一人一人の好みの違いもあるので、ポイントの数を競い合うのではなく、発表をよりよくしていくための目安であることを十分に指導する。

③読書活動の充実

図書の時間に、「テーマ毎のまとめ読み」を実施した。実施前は、児童によって選ぶ本に偏りが出始めていたが、班ごとにテーマ別の本を20冊ずつ配布したところ、今まで自分からは読まなかった本に手を伸ばす児童が増えてきた。

また、司書さんの協力のもと、市立図書館の本をまとめて借りて教室置きにしている。昨年1年間で150冊、本年度も1月末までで合計100冊の本を借りた。児童のすぐ手の届く所に用意しておいたことで、学習の合間等の少しの時間にも本を手にとって読む児童が増えた。

加えて、一月に1回程度の「本読み会」では、保護者の有志が読み聞かせを実施している。また長期休業中には、読書の記録(冊数とおすすめの本の紹介)を課題とし、公立図書館を保護者も一緒に利用することを進めた。親子で一緒に本を選んだり感想を交流したりするなど、協力的な家庭が増えた。

6、学習指導計画（全10時間）

時	主な学習活動	指導事項・指導のポイント	☆支援 ★評価規準（評価方法）
1	単元全体を見通して、学習活動のめあてを確かめる。 紹介したい本を選ぶ。	・単元のねらいと、活動の流れについて、理解させる。 ・図書室の本の中から、1年生に紹介したい本を数冊選ばせる。	☆「1年生に本の紹介をする」という目的をもたせ、読みへの意欲を高める。 ☆2年生で学習してきた内容を踏まえ、3つのカテゴリー（「自然のふしぎ」「昔話」「動物が主人公の物語」）を提示する。 ★活動のねらいを理解し、本を選ぶことができる。【関・意・態】（ワークシート）
2 3 4 5	本の紹介を考える ① あらすじの紹介 ② お気に入りの場面（絵とタイトル） ③ おすすめの言葉	・登場人物の変容を中心に、あらすじをまとめさせる。 ・お気に入りの場面の絵をかかせる。→題名をつける。 ・おすすめのことを考えさせる。	☆本を読む時間を十分に取る。 ☆「読みたいポイント」により、活動の意欲を高めさせる。 ☆苦手な児童は、本の挿絵を模倣させる。題名は、本文を引用してもよいとする。 ★正しい表記で書いているか。【言語】 ★本の内容を理解し、相手を意識した紹介の仕方を考えることができたか。 【読む】【書く】（ワークシート）
6	紹介文をペアで交流し合い、よりよい文になるよう考える。	・「読みたいポイント」が増えた理由を、伝えるようにさせる。 ・お互いの本を、じっくり読ませる。 ・アドバイスを受けて、変えられるところは、変えさせる。	☆机を横に並べ、お互いの声が届きやすいようにする。 ☆実際に本を読み合って、感想を交流させる。 ★本の内容に沿って、相手にアドバイスをすることができたか。 【読む】（発表・ワークシート）
⑦ 本時	グループ内で、発表の内容を高め合う。	・同じカテゴリーのグループで集まり、紹介し合う。 ・グループ内で、お互いの内容にアドバイスをし合う。	★本の紹介をしようとする。 【関・意・態】（観察） ★友達の発表を聞いて、アドバイスをしたり、感想を伝えたりすることができる。 【話す・聞く】（発表・ワークシート）
8	グループで、発表の準備をする	・グループ内で、発表の方法を考えさせる。（グループ名・順番・つながり方） 発表の練習をさせる。	☆入れ替えや追加がしやすいように、短冊を使って構成を考えさせる。 ★お互いの意見を聞いて、決めることができる。【話す・聞く】（発表・ワークシート）
9	学級で本の紹介をして、よいところや改善点を伝え合う。	・グループ同士で、相互に紹介させる。 ・アドバイスを受けて、変えられるところは、変える。	★発表を聞いて、アドバイスや感想を伝えることができる。 【話す・聞く】（発表・ワークシート）
10	1年生に本の紹介をする。	・グループ毎に、1年生に本の紹介をさせる。	★グループで協力して、1年生に本の紹介をすることができる。 【話す・聞く】【関・意・態】

7、本時の指導（7時間目／10時間）

(1) ねらい

○友達の発表を聞いて、アドバイスをしたり、感想を伝えたりすることができる。（話す・聞く）

(2) 展開

学習活動	指導事項・指導のポイント	☆支援 ★評価規準（評価方法）
<p>1、本時の学習内容を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">活動の流れ</p> <p>① 本の紹介 ② 「読みたいポイント」 ⑦ ワークシートにアドバイスや感想を書く ⑧ アドバイスや感想を交流する</p> </div> <p>2、本時のめあてを確認する。</p>	<p>教師の師範により、活動の流れを理解する。</p>	<p>☆事前に全員の紹介シートを完成させておく。</p> <p>☆活動の流れを掲示する。</p> <p>☆児童になじみのある本を使い、活動の流れを理解させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>友だちのしょうかいをよく聞いて、「読みたいポイント」アドバイスをしよう</p> </div>		
<p>3、グループ内で本の紹介をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">活動の流れ</p> </div> <p>に沿って行う。</p>	<p>・「読みたいポイント」を目安に、そのポイントを付けた理由を伝えるようにさせる。</p>	<p>☆声のものさしなどの掲示物を用いて、聞き取りやすい読み方で紹介することを指導する。</p> <p>☆グループの机を、聞き取りやすいように配置する。</p> <p>☆一人あたり五分間は、一冊の本について交流させる。</p>
<p>4、相手にアドバイスを書く 感想を交流する</p>	<p>・アドバイスや感想の内容は、紹介の仕方（声の大きさや速さ等）よりも、紹介の内容に関することにさせる。</p> <p>・アドバイスを受けて、加えられるところは、加えさせる。</p>	<p>☆アドバイスや感想の参考例を事前に例示する。</p> <p>★紹介を聞いて、アドバイスをしたり感想を伝えたりできる。</p> <p style="text-align: center;">【話す・聞く】（ワークシート）</p>
<p>5、学習を振り返る</p>	<p>・紹介をし合って、思ったことやわかったことをワークシートに書き、発表する。</p>	<p>☆紹介の感想や友達からのアドバイスでよかったところを発表させ、全体で共有する。</p>
<p>6、次時の内容を知る</p>	<p>・次回は、クラス内で発表することを知る。</p>	